

令和6年度東京ヘリポート消火・救難訓練

令和6年7月2日（火）、東京ヘリポート消火・救難訓練を実施いたしました。

本訓練は、東京都東京ヘリポート消火・救難規約に規定されているもので、緊急連絡系統図に沿って情報伝達を行う通報訓練、現場で動きの確認を行う総合訓練の2部制で実施いたしました。

概要

日時：令和6年7月2日（火）13時40分～16時
場所：東京都東京ヘリポート コンパス修正場、ホバリングテスト場及び周辺スポット
主催：東京港管理事務所
協力：東京消防庁装備部航空隊・城東消防署（消火協力）
東邦航空株式会社（機体提供）、江東区（起震車貸出）
参加機関：22機関
参加人数：51名（うち、見学者16名）
想定：千葉県沖で震度7の地震が発生。滑走路を閉鎖し、臨時点検を行っているとき、余震が発生。その余震で駐機中のヘリコプターが横転し、給油車と衝突。けが人を救出後、再度余震が発生し出火。城東消防署等の協力のもと消火する。

通報訓練

地震発生時の対応を確認しました。

また、衝突事故発生を受けて、緊急連絡系統図に基づき、航空局や離島港湾部、ヘリポート構内事業者等への通報（一部模擬通報）を実施し、緊急時の連絡体制を確認しました。



事故発生報告



関係機関へ通報

総合訓練

東京ヘリポート制限区域内において、担架を用いた負傷者の救助や三角巾を用いた手当を行いました。

また、東京消防庁装備部航空隊・城東消防署及び東京ヘリポート化学消防隊の消防ポンプ車3台による一斉放水も行われました。



負傷者の救助



一斉放水

起震車体験

今年度は、新たな試みとして起震車体験を実施いたしました。訓練の参加者及び見学者に震度7の揺れを実際に体験していただきました。

また、城東消防署砂町出張所の依田所長から、地震発生時には身の安全を確保してから、火の元確認を行うなどのポイントをご説明いただきました。



震度7体験中



依田所長のご説明

講評

訓練終了後には、城東消防署の水越署長と東京港管理事務所の菊田所長からそれぞれ講評をいただきました。



水越署長



菊田所長

（担当）東京港管理事務所港務課ヘリポート担当
03-3522-2681